

# 《青稜算数》合否判定テスト

1 次の  の中にあてはまる数を入れなさい。

(1)  $1000 - (315 - 187) \div 4 \times 2 =$

(2)  $2\frac{1}{2} \div \frac{3}{4} \times \frac{2}{3} - \frac{1}{4} =$

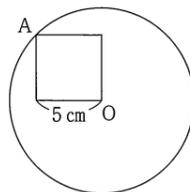
(3)  $50 - (\text{ } \div 6 + 16) = 26$

(4)  $\frac{5}{3} \times 1.4 - (0.345 - \text{ }) \div \frac{3}{10} = \frac{19}{12}$

(5)  $\frac{1}{2} + \frac{3}{4} + \frac{7}{8} + \frac{15}{16} + \frac{31}{32} + \frac{63}{64} - \frac{1}{24} \div \frac{8}{3} =$

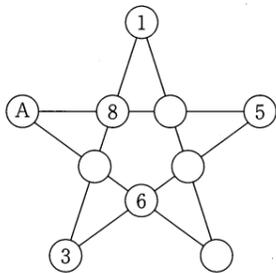
2 次の  の中にあてはまる数を入れなさい。

(1) 右の図の四角形は、1辺が5cmの正方形です。この正方形の対角線AOを半径とする円の面積は   $\text{cm}^2$  です。ただし、円周率は3.14とします。

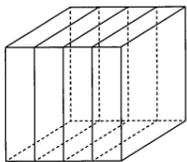


(2)  $\frac{30}{91}$  をかけても  $1\frac{9}{26}$  をかけても整数になる分数のうち、30に最も近い分数は  です。

(3) 右の図の○に、7と11を除く1~12までの数を1つずつ使い、各線上の数の和が等しくなるように数を埋めるとき、Aに入る数は  です。

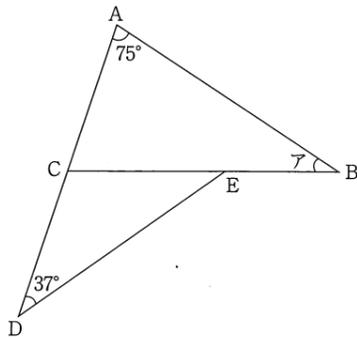


(4) ビーカーに12%の食塩水が100g入っています。この食塩水が20gこぼれたので、水を20g加えてかき混ぜると、濃さは  %になりました。



(5) 立方体を右の図のように4等分して4つの直方体を作りました。このとき、4つの直方体の表面積の和は、もとの立方体の表面積より  $294\text{cm}^2$  増えました。もとの立方体の体積は   $\text{cm}^3$  です。

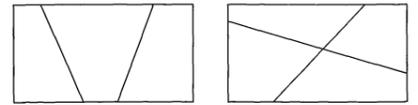
(6) 右の図で、 $AB = DE$ 、 $AC = CD$  のとき、アの角度の大きさは  度です。



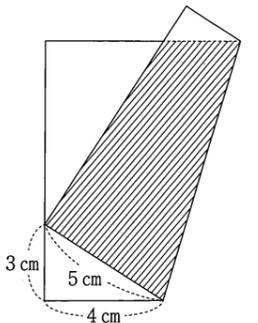
3 友達4人でクリスマス会を開き、それぞれ1個ずつのプレゼントを用意して交換します。このとき、4人全員が自分の用意したプレゼント以外のプレゼントをもらう場合は何通りありますか。

4 A君の家から駅まで歩くと30分かかり、走ると15分かかります。ある日、A君は家から駅まで行くのに最初は歩いていましたが、途中から走ったところ24分かかりました。A君が走ったのは何分間ですか。

5 長方形を何本かの直線で分けます。たとえば、直線が2本のとき、右の図のように長方形は3個または4個に分けられることから、長方形は最大4個に分けられます。長方形に5本の直線を引くとき、長方形は最大何個に分けられますか。



6 正方形の紙を、頂点の1つが辺の上にくるように折り曲げると右の図のようになりました。図の斜線部分の面積は   $\text{cm}^2$  です。



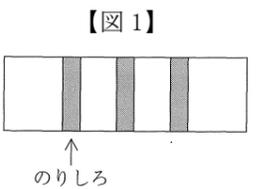
7 ある店で2種類の商品A、Bを仕入れ、それぞれ何%かの利益があるように定価をつけました。A1個とB1個の仕入れ値の比は3:5、利益の比は3:4、定価の比は5:8でAを2個、Bを3個買うと、代金は5100円になります。次の問いに答えなさい。

(1) Aの定価は何円ですか。

(2) A1個の利益は、仕入れ値の何%ですか。

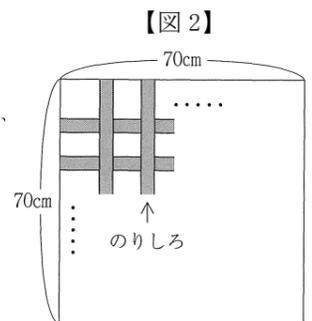
8 1辺の長さが10cmの正方形の折り紙があります。この折り紙をのりしろの幅をすべて等しくして重ねてはり合せ、大きな長方形の紙を作ります。次の問いに答えなさい。

(1) 【図1】は、のりしろの幅を3cmにして4枚重ねてはり合せ、大きな長方形の紙をつくったものです。このとき、長方形の横の長さは何cmですか。



(2) 【図1】のように、のりしろの幅を3cmにして重ねてはり合せて、横の長さが5mの大きな長方形の紙をつくるとき、何枚の折り紙が必要ですか。

(3) 【図2】は、64枚の折り紙をのりしろの幅をすべて等しくして重ねてはり合せて、1辺の長さが70cmの大きな正方形の紙をつくったものです。このとき、のりしろの幅は何cmですか。



# 青稜算数 合否判定テスト

## ★ 青稜算数合否判定テストの受験方法 ★

この『青稜算数合否判定テスト(裏面)』は、今現在のあなたの青稜算数における得点力がどのレベルにまで達しているのかを判定する目的で作成された自己採点形式の模擬試験です。以下の手順に従って受験をし、今後の勉強方法の指針として役立ててください。

- 《1》 考查時間(50分)を厳守して下さい。
- 《2》 試験終了後、保護者の方が模範解答(右下)をもとに採点をして下さい。
- 《3》 試験結果を右頁の『合否判定自己診断表』に照らし合わせて、現在の青稜算数に関するあなたの得点力を分析してみましょう。

※紙面の都合上、この模擬試験の『解説』は割愛させていただきましたが、青稜合格通信添削会の受講者には、この問題の詳しい『解答と解説』を通信添削教材発送時に併せて配布を致します。

## ★ 青稜算数合否判定テストの狙い ★

ー 大手進学塾の偏差値では正確な合否の可能性は測れない? ー

大人数の中学受験生を対象に行われる大手進学塾の合判テストの結果を不安そうにながめながら、はじき出される偏差値や合格可能性の浮き沈みに気をもんでいる受験生や保護者の皆様の姿を目にする時期になりました。確かに、受験生全体の中での自分の位置を客観的に測ることは今後の勉強の発奮材料としては意味あることかもしれません。ただ、こういった統一的な模擬試験で好成績を収めることが「青稜合格」の確信につながるのでしょうか。既にご存知の通り、この種の模擬試験は、たった一枚の試験で、あらゆるレベルの中学校の合否を判定する目的で作られており、その中には当然、青稜には出題されない基礎的な問題や、逆に解けなくても気にする必要の無いハイレベルの問題も含まれております。そのような性質をもつテストの結果をもとにして、「青稜の問題」に対する得点力、ひいては合否の可能性を探るにはどうしても無理が生じてきてしまうのです。言い換えると、大手進学教室が実施する合判テストで、「青稜には偏差値が5足らない」とか「合格可能性が80%以上出た」といって、一喜一憂するよりも、受験本番が迫ってきた今、青稜に実際に出題される『形式・レ

ベル・内容』の問題での得点力を磨くことに集中したほうが得策であるということに他なりません。また、多くの受験生はそれぞれの学習塾で(青稜には出題されない分野の問題も含めて)様々なジャンルの問題に取り組みされているはず。これは陸上競技に例えるなら“100m走”に出場する選手が、高跳びやハンマー投げの練習に時間を割いているようなもの。これでは試合(入試)で思うように実力が発揮できなくても仕方の無いところ。大手塾が下す合否判定を盲信するのではなく、この「青稜算数合否判定テスト」で今の自分の位置を正確に知り、作戦を練り直し、これからの受験勉強を効率的に進めて下さい。それこそが、大手塾の合判テストで同程度の合格可能性と判定された青稜受験生の中で、優位に立ち、勝利する唯一の方法なのです。

今回は「青稜算数」のみのテスト配布となりますが『青稜合格通信添削会』では他の教科も同様に、青稜の問題を研究し尽くして作成された教材と添削指導を通して、あなたに100m走(青稜受験)に勝つための技術を磨く訓練の場を提供します。“100mファイナルの舞台へ駒を進め、決勝(青稜合格)のゴールテープを切る”というあなたの夢をかなえるための“青稜合格専属トレーナー”、それが『青稜合格通信添削会』です。

## ☆ 『合否判定自己診断表』 ☆

青稜算数 合否判定テストの **合格基準点は60点(合格可能性70%)** です。

ー この基準点から推定される青稜中学校の入試における合否判定(合格可能性)は次のようになります ー

<b>A判定 合格安全圏 (80点以上)</b>	合格可能性: 90%以上 算数に関してはすでに青稜合格の実力が十分に備わっていると判断できます。ただし受験は水物。最後まで気を抜くことの無いように。
<b>B判定 合格有望圏 (65~79点)</b>	合格可能性: 75~89% 十分に合格圏に達しています。青稜合格をより確実なものとするためにも、慢心することなくこれからの勉強を続けて下さいね。
<b>C判定 合格可能圏 (55~64点)</b>	合格可能性: 60~74% 残された時間に勝負がかかっています。「絶対に合格するんだ!」という気持ちを持って頑張り抜けば、勝利の女神が微笑むでしょう。
<b>D判定 合格目前圏 (45~54点)</b>	合格可能性: 40~59% いわゆるボーダーライン上にいます。現在あなたは、最も多くの青稜受験生がひしめくレベルにいます。ここから抜け出すのは君だ!
<b>E判定 努力圏 (30~44点)</b>	合格可能性: 20~39% 毎年このレベルからも、数多くの「青稜通信添削会」の受講生が合格を勝ち得ています。合格には青稜に的を絞った学習が不可欠。
<b>F判定 実力不足圏 (29点以下)</b>	合格可能性: 20%未満 合格圏までには距離がある結果となりましたが、まだ時間は残されている。あせらず、一步一步、青稜合格への階段を上り続けよう!

## ー 青稜算数 合否判定テスト『解答と配点』 ー

- ① (1)936 (2)10 (3)48 (4)0.12 (5)5  
② (1)157(cm<sup>2</sup>) (2)  $\frac{182}{5}$  (3)2 (4)9.6(%) (5)343(cm<sup>2</sup>) (6)34(度) ③ 9(通り) ④ 6(分間)  
⑤ 16(個) ⑥ 30(cm<sup>2</sup>) ⑦ (1)750(円) (2)25(%) ⑧ (1)31(cm) (2)71(枚) (3)  $\frac{10}{7}$  (cm)

《配点》 各5点×20問

テストの結果はいかがでしたか。満足のいく判定が出た人、十分に実力を発揮しきれなかった人など様々だったと思います。また、テストを受験する時期によっても判定がちがってくることも大いに考えられます。結果が思わしくなかった人は、苦手分野を克服したあとで、再度挑戦してみてください。良い判定の出た人も油断せず、なお一層努力を続けていって下さい。青稜合格の栄冠を勝ち取ることができますよう祈念致しております。

青稜合格通信添削会